

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 西臼杵教育振興連合会
 代表者・役職名 氏名 理事長 林 怜史



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

西臼杵防災演習

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

宮崎県西臼杵郡は過疎法にも指定された典型的な中山間地域であり、都会との格差がありとあらゆる面であり、これらを解消していくためには行政主導でなく、民間が主導の教育を地域に施す必要性を感じ、様々なジャンルのスペシャリストを召致して1つの事業に捉われることなく幅広く教育実践を行なえるよう体制を整えて、2016年6月に法人設立、現在会員数62名、賛助会員76名で活動を実施。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

宮崎県西臼杵郡は熊本県に隣接しており、先般の熊本地震において高千穂町も震度6弱、五ヶ瀬町震度5強を実測しており、かつ断水や落石、停電が発生している。大災害は決して他所事ではなく、身近なものとして文字通り身をもって体感したため、防災意識が薄まらないうちに知識及び技術の習得を促し、有事の際に備えることを目的としたもの。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

宮崎県は風水害が多く、平成16年に襲来した台風においては役場の1階が浸水するほど甚大な被害が発生しているため、土嚢の積み方や可搬式ポンプを使用した消火訓練、非常炊き出し訓練などの実技をはじめ、避難経路や避難所設営を自分たちで考えて想定するDIG(Disaster Imagination Game)演習や消火器・自動火災報知設備や誘導灯・連結送水管等の消防用設備に関する知識の伝達、阪神淡路大震災での被災体験やJR福知山線脱線事故における応援救助活動、緊急消防援助隊による東日本大震災での救援活動などの講話を開催。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

毎月1回の開催にて防災講演、実技演習、図上訓練、自主防災訓練を実施し、延12回の開催で参加者総数延1,462人、1回平均121名の参加があり、参加目標人数は達成できた。自主防災の重要性を認識させることができ、参加者の個々における知識及び技術の習得の必要性を自覚させることに成功。「防災は常日頃からの備えなくては達成できるものでないと参加するほど身にしみてわかった」などの感想のとおり、参加者は日々頭の片隅に防災に対する意識を持つよう心がけ、学んだことを波及していくことを実践してくれた。参加者の1部では地元の広範囲さ(約20k m²)から部分的ではあるが、自主防災組織を結成するに至り、地域への影響は大である。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

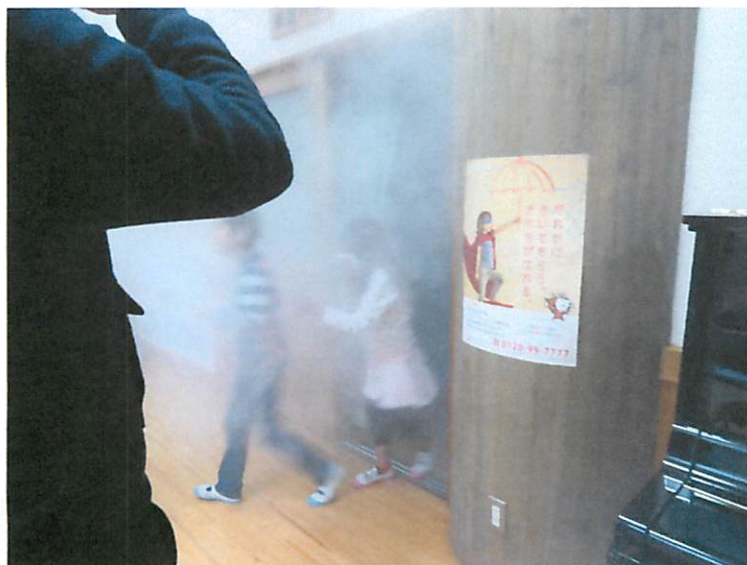
「災害は忘れた頃にやってくる」といった言葉通り、近年各地で予想もしなかった場所での災害が目立つ。隣県の大分にあっては毎年の如く災害が次々と発生する。災害に備えすぎることはないことから、常に防災意識を保つことが必要であるが、継続することほど難しいことはなく、今プロジェクトのお蔭で民間資格であるが防災士を取得した人間もおり、効果は靦面であったが、何もしなければすぐ忘れていくのが人間であるため、風化させないことが課題であり、今後も継続して事業を行なっていく予定であるが、事業を継続するにも予算が伴うため、会員を増やしたり事業申請を行なうなど財政の基盤を磐石にすることが重要であると考えます。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし

= 活動写真 =



西白杵防災演習

防災講演

消火器・自動火災報知設備や誘導灯・連結送水管等の消防用設備に関する知識の伝達、阪神淡路大震災での被災体験やJR福知山線脱線事故における応援救助活動、緊急消防援助隊による東日本大震災での救援活動

実技演習

土嚢の積み方や可搬式ポンプを使用した消火訓練、非常炊き出し訓練などの実技

図上演習

避難経路や避難所設営を自分たちで考えて想定するDIG (Disaster Imagination Game) 演習

自主防災訓練

地域の防災リーダーの育成を目指します

毎月第1日曜日開催

開催予定日

4/16 5/7 6/4 7/2 8/6 9/3 10/1

11/5 12/3 2018/1/7 2/4 3/4

集合場所 五ヶ瀬町大字三ヶ所9719番地1

時間 9:00~12:00

講師 林 怜史

主催 特定非営利活動法人西白杵教育振興連合会

お問い合わせ 林 怜史

(電話番号) 080-1453-8228

(メール) naimez_que_moi8228@yahoo.co.jp

